

ISST 公認

国際スキーマ療法セラピスト・トレーニングプログラム 2021



by Japanese Schema Society Certification Training Program

伊藤絵美, 津高京子, 森本雅理, 吉村由未

(2021年2月改訂)

ISST によるスキーマ療法セラピストの国際資格について

ISST はスキーマ療法を提供するセラピストには、必要なトレーニングを受け、認定資格を取得することを勧めています。

スキーマセラピストには次の二つの認定レベルがあります。

1. Standard International Certification (スタンダード・レベル国際認定)

このレベルのセラピストは、承認されたトレーニングプログラム内でアドバンスト・レベルのトレーナー - スーパーバイザーのスーパービジョンの元でのみ、スキーマ療法を実践し、アウトカムスタディに参加し、他のセラピストに対して基本レベルまでのトレーニングまたはスーパービジョンを提供することが認められています。トレーニングプログラムを実施したり、セッションを評価したり、困難ケースについて SV を提供したりすることはできません。

2. Advanced International Certification (アドバンスト・レベル国際認定)

このレベルのセラピストは、困難事例を含めた全ての患者を扱うこと、アウトカム研究に参加すること、スーパーバイザー・トレーナーの資格を申請することが認められています。アドバンストの認定を受けてから3年以降にトレーニングプログラムを提供する資格を得ることができます。

ISST の資格取得に必要な要件とトレーニング

資格認定を受けるに当たっては、必要なトレーニングの内容や時間、スーパーバイザー・トレーナーの認定を受けているセラピストによるスーパービジョンなどの要件を満たすことが必要です。どのような内容の学習をどのくらい受けたかについても細かく定められており、受講を必要とされているプログラムの全てを網羅する必要があります。

トレーニングを受けるために必要な要件：次の二つの条件を満たす必要があります。

- ① アカデミックトレーニング: 少なくとも、心理学、ソーシャルワーク、精神看護学、またはライセンス供与につながるカウンセリングエリアの修士号を持っていること
- ② スキーマ療法実践のためのライセンスまたは認定資格: 政府機関または専門機関のいずれかによって上記の職業を实践するためのライセンスや認定資格を供与されていること

【資格取得に必要なトレーニング】

認定トレーニングの要件	スタンダード・セラピスト	アドバンスト・セラピスト
1. 講義の時間数	25 時間以上	25 時間以上 (スタンダード認定の完了後は追加時間なし)
2. 実践的学習の時間数 (スーパーバイザーの指導下で二人一組のロールプレイ)	15 時間以上	15 時間以上 (スタンダード認定の完了後は追加時間なし)
3. スーパービジョン数	20 セッション (1 回 50~60 分)	40 セッション (1 回 50~60 分)
4. ケースについての SV の一環としてのセルフセラピー	強く推奨。 20 セッションのうちの 3 セッションは主にセルフセラピーとして使うことができる。	強く推奨。 40 セッションのうちの 6 セッションは主にセルフセラピーとして使うことができる。
5. ピア SV	強く推奨	強く推奨

6.スキーマ療法実施ケース数	2 ケース以上で、それぞれ最低25 セッション以上。 そのうち1 ケースはパーソナリティ障害または明らかにパーソナリティ障害の特徴を有する患者であること。 残りのケースはスキーマモードワークを適用できる患者であること。	4 ケース以上で、それぞれ最低25 セッション以上。 そのうち1 ケースはパーソナリティ障害または明らかにパーソナリティ障害の特徴を有する患者であること。 残りのケースは、過剰補償モードと回避/従順モードの両方の機能を示し、スキーマモードワークを適用できる患者であること。
7.患者とのセッション数 (45分以上のもの)	80 セッション以上	160 セッション以上
8.SV を受けた期間	1 年以上	1 年以上
9. STCRS [※] の評価 ※ 評価尺度	1 セッション STCRS スコアが 4.0 以上 ケース概念化フォーム	2 セッション STCRS スコアが 4.5 以上 それぞれのケース概念化フォーム
STCRS の項目 6-9 に 4.0 以上の個別評価を受ける必要がある。		

【トレーニング プログラムの内容】

必要な講義内容のカリキュラム (25 時間以上)

1 概念とケースの概念化

1.1 スキーマ理論と概念

- スキーマ, コーピング スタイル, およびモード: 定義と区別
- アセスメント:面接, イメージ, 尺度を含む
- 心理教育: 子どもの欲求と権利
- 気質的要因

1.2 ケースフォーミュレーション・ケースコンセプトアライゼーション

- スキーマ用語および/またはモードの概念を用いた, 目標とニーズの明確化
- スキーマ用語および/またはモードの概念を用いたケースの概念化

2. 治療関係

- 治療的再養育
- 共感的直面化
- 限界設定
- セラピストのスキーマ:特定のタイプの患者によりセラピストのスキーマが活性化されてしまった場合の対処について
- 自己開示の適切な使用

3 スキーマ療法の技法

3.1 認知的技法

- 日記
- フラッシュカード

3.2 体験的技法 I(イメージワーク)

- イメージとイメージによるシナリオの書き換え
- スキーマ/モードと幼児期の体験を結びつける
- チャイルドモード, 特に脆弱なチャイルドモード, 怒れるチャイルドモードに対する治療的再養育

3.3 体験的技法 II(例えばモードダイアログやロールプレイなど)

- スキーマとの対話, モードとの対話
- 不適応的コーピングモードのための共感的直面化と限界設定

- 懲罰的ペアレントモードおよび要求的ペアレントモードへの直面化と限界設定
- ロールプレイ

3.4 ホームワークと行動変容の戦略

4 専門領域

4.1 パーソナリティ障害を伴う人を対象としたモードワーク

- ボーダーラインパーソナリティ障害 (必須)
- C群パーソナリティ障害 (必須)
- 自己愛性パーソナリティ障害
- その他のパーソナリティ障害
- 試験が ST の有効性をサポートするにつれて、パーソナリティ障害は必須になる

4.4 他の I 軸障害を伴うスキーマ療法(エビデンスが確立されるまではオプション)

- 依存症
- 摂食障害
- PTSD
- 強迫性障害

5 文献

- Reinventing Your Life
- Schema Therapy: A Practitioner's Guide
- Other Reading Materials selected by the approved training program

JAPANESE SCHEMA SOCIETY CERTIFICATION TRAINING PROGRAM (JSSCTP) の 国際スキーマ療法セラピスト・トレーニングプログラムについて

2018年、洗足ストレスコーピング・サポートオフィス（当機関）の伊藤絵美所長がISSTより国際スキーマ療法セラピストのTrainer & Supervisorの資格を取得しました。これにより、当機関がISST公認のトレーニングプログラムを提供できるようになりました。

このプログラムでは、講義、実習、SV、審査を全て日本語で受け、国際資格を取得することができます。ただし、資格審査時にはISSTの正会員になっておく必要があります。

【JSSCTPで資格を取得するまでの流れ】

スタンダード スキーマ療法セラピスト	アドバンスト スキーマ療法セラピスト	スタンダード取得後に アドバンストを取る場合
6時間のスキーマ療法入門WS		-
↓	↓	
38時間（6日間）のWS		
↓	↓	
SV 20回	SV 40回	SV スタンダードに加えて 20回（トータル40回）
↓	↓	↓
ケースレポート1本 + 1セッション分の 録音テープの審査	ケースレポート2本 + 2セッション分の 録音テープの審査	スタンダードに加えて ケースレポート1本 + 1セッション分の 録音テープの審査
↓	↓	↓
最終審査	最終審査	最終審査
↓	↓	↓
資格認定		

※ トレーニングの内容および審査の要件はISSTに準じます。

JSSCTP 参加要件

参加申し込みにあたっては、まず以下の要件につきましてご確認ください。

1. 公認心理師，臨床心理士，医師，精神保健福祉士，看護師，作業療法士，理学療法士，言語聴覚士など，対人援助に関わる公的資格の保持者で，その領域の学位が修士以上であること
2. 個人療法の臨床歴が通算5年以上であること。および今現在個人療法を仕事として継続的に行っていること
3. 個人療法を通算5年以上行っていること，および，その質を保証する専門家2名の推薦状があること
4. JAST（日本スキーマ療法研究会）の会員であること
5. ISST（International Society of Schema Therapy）の会員（準会員以上）であること。
※ただし ISST のライセンス取得の際には正会員になる必要があります。
6. 2018年10月以降に洗足ストレスコーピング・サポートオフィス主催で開催された ISST 認定の『スキーマ療法入門ワークショップ』（またはそれに準ずるもの）を受講済みであること

※ ISST の受講証明書が発行されたものが該当ワークショップとなります。2018年9月以前のワークショップは同等の内容であっても適用外となりますのでご注意ください。

※ 2018年10月に開催された Joan M. Farrell 博士の『複雑性トラウマに対するスキーマ療法ワークショップ』も含まれます。
7. スキーマ療法に関する何らかの経歴を有すること
8. 以下の3冊を読了していること。
 - Jeffery E. Young ら（著），伊藤絵美（監訳），2008年，『スキーマ療法—パーソナリティの問題に対する統合的認知行動療法アプローチ』 金剛出版
 - Arnoud Arntz ら（著），伊藤絵美（監訳），2015年，『スキーマ療法実践ガイド—スキーマモード・アプローチ入門』 金剛出版
 - Joan M. Farrell & Ida A. Shaw（著），伊藤絵美（監訳），2016年，『グループスキーマ療法—グループを家族に見立てる治療的再養育法実践ガイド』 金剛出版

プログラム日程

日時：前半3日間, 後半3日間の計6日間 (38時間)

前半：2021年5月2日(日) 10:00~17:00

2021年5月3日(月) 10:00~18:00

2021年5月4日(火) 10:00~17:00

後半：2021年9月19日(日) 10:00~17:00

2021年9月20日(月) 10:00~18:00

2021年9月26日(日) 10:00~17:00

場所：洗足ストレスコーピング・サポートオフィス

〒145-0062 東京都大田区北千束 2-29-4

電話：03-5499-4970

URL：<http://www.stress-coping.com/>

定員：6名

料 金

- ワークショップ（6日間：38時間） 380,000円（+消費税）
- 20回のスーパービジョン + 審査（ケースレポート2本+2セッション分の録音テープ） 300,000円（+消費税）
- 40回のスーパービジョン + 審査（ケースレポート3本+3セッション分の録音テープ） 550,000円（+消費税）

- パッケージ
 - ◆ スタンダード・スキーマ療法セラピスト
ワークショップ（6日間）+20回のSV+審査（ケースレポート2本+2セッション分の録音テープ） 630,000円（+消費税）
 - ◆ アドバンスト・スキーマ療法セラピスト
ワークショップ（6日間）+40回のSV+審査（ケースレポート3本+3セッション分の録音テープ） 850,000円（+消費税）

- 最終審査 20,000円（+消費税）

申し込み方法

【申込必要書類】

以下の書類をご準備いただき、当機関まで書留にてご郵送ください。

- JSSCTP 申込用紙
- 個人療法を通算5年以上行っていること、および、その質を保証する専門家2名の推薦状
- 免許・資格証明書のコピー

【申込締め切り】

2020年12月23日(水) 必着

【選考方法】

書類審査の上、厳正なる抽選を行います。

結果は、2021年1月中旬以降に、郵送にてお知らせいたします。

※支払い方法等の詳細につきましては、選考結果とともに該当者にのみご案内いたします。

※ご郵送いただいた書類は、どのような審査・抽選結果であれ返却いたしません。

お申し込み・お問い合わせ先

洗足ストレスコーピング・サポートオフィス JSSCTP 受付係

住所：〒145-0062 東京都大田区北千束 2-29-4

電話：03-5499-4970

URL：<http://www.stress-coping.com>

E-mail：staff@stress-coping.com